

GREEN RADER

全農長野県本部情報
／グリーンレーダー

2023 VOL.531

08



A-Policy【重点事業方針】

畜産酪農部の取組み

生活部 燃料・ホームエネルギー課の取組み

生活部 生活課の取組み

A-Reports

- | | | | |
|--------------------------------------|----|---------------------------|----|
| ・長野県カーネーション3JA合同会議…………… | 04 | ・子会社等が定時株主総会、通常総会を開催…………… | 08 |
| ・会員会議を開催…………… | 05 | ・新採用職員紹介…………… | 09 |
| ・北陸新幹線で輸送 JAながの産地直送アンス「ハーコット」販売…………… | 06 | ・JA全農長野の事業現況…………… | 10 |
| ・県産ハクサイ使用「いちおしキムチシリーズ」増量キャンペーン…………… | 06 | ・今月のおすすめレシピ…………… | 10 |
| ・自転車レースでのご汁振る舞い…………… | 07 | ・8月のラジオ番組表…………… | 10 |
| ・ドトールコーヒーショップで長野県産農産物をPR…………… | 07 | ・編集後記…………… | 10 |
| ・下伊那子山羊市場 年に一度の共進会とセリ…………… | 08 | | |



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

畜産酪農部

畜産酪農部の取組み

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大から3年が経過し、大型連休が明けた5月8日に、ようやく感

染症法上の位置づけが季節性インフル

エンザと同じ「5類」に移行しました。

「ウィズコロナ」から、いわゆる「アフターコロナ」への転換期となり、人々の生活はコロナ禍以前のように戻りつつあるなかでイベントや集会も徐々に再開され、観光地では国内外の観光客が訪れ、活気づいています。

一方、ロシア・ウクライナ情勢の影響や為替相場の円安により、生活必需品や電気料金、燃料等の値上げが度重

なつたことにより消費者の節約志向は高まり、消費者マインドは冷え込みを見せています。

畜産酪農の生産現場では、粗飼料・穀物の高騰、海上運賃の増高、円安等により飼料代金の値上げが続き、生産コスト増大による農家経営を圧迫して

います。依然として、ロシア・ウクライナ情勢の収束は先が見えず、世界的な穀物需給の混乱は今後も飼料価格に

大きく影響することが懸念されています。

国の政策として、配合飼料価格安定基金の発動基準を特例的に緩和し、補

てん金を交付しやすくすることや、県単位では飼料高騰対策などが打ち出さ

れてきましたが、生産コスト増高分を全てカバーするまでには至らず、生産者の不安は払拭されておりません。

また、国内においても鳥インフルエンザが猛威を振るい、過去最多の26道

県、84事例発生し、約1,771万羽が殺処分されたことにより鶏卵需給が逼迫しました。豚熱については、5県、9事例発生し、約7.5万頭が殺処分

されるなど、農場における飼養衛生管理基準の徹底が一層求められました。

このような状況の中、令和5年度、畜産酪農部は、補完的な生産により数量確保を図りながら、信州産ブランドの販促強化等、有利販売の仕組みを維持強化し、農家所得の確保を目指して生産基盤の維持を図れるよう、次に掲げる具体策をもって事業に取り組みま

す。

1. 生産基盤維持と販売数量の確保

- (1) 受精卵移植頭数の拡大によるET^{*1}和牛子牛確保
- (2) 長野県中央家畜市場のEBL^{*2}自主検査結果公表による市場活性化
- (3) 緊急対策事業の周知および県行政との協議
- (4) 搾乳頭数の確保と乳質改善対策
- (5) 県本部奨励施策等による生産基盤の維持確保

2. 信州産ブランドの販売強化と生産性向上による農業所得の増大

- (1) 信州産ブランド畜産品の県内外での販売促進強化および信州プレミアム牛肉の輸出拡大に向けた販売会社との販売取り組み強化
- (2) 関係機関・関連会社と連携した乳質改善、ポジティブリスト全戸巡回の実施
- (3) 生産性向上巡回の継続実施および販売促進の取り組み強化
- (4) 畜産・酪農情勢について理解醸成運動の継続的な取り組み
- (5) ET^{*}和牛子牛の生産と販売推進による副収入の確保

3. 県本部生産農場の機能充実と経営の安定

- (1) 三岳牧場…安定的な子牛供給、預託

頭数の維持拡大、ET事業の推進

- (2) 八ヶ岳牧場…生産性向上による生乳出荷量の確保、搾乳頭数維持による信州産生乳の確保
- (3) SPF豚繁殖センター…繁殖成績向上による販売子豚頭数の確保と優良子豚の産出

4. 地域畜産酪農営農センターの機能強化

- (1) 営農技術員の資質向上によるセンター機能強化
- (2) 地域畜産酪農営農センター運営体制の継続協議

5. 県内食肉処理施設に関する協議

- (1) 食肉処理施設の代替候補地に関する県行政および関係機関との協議
- (2) 食肉流通体制の整備

*1 ET＝受精卵移植
*2 EBL＝牛伝染性リンパ腫



街頭での畜産・酪農の理解情勢運動

生活部燃料・ホームエネルギー課の取組み

ENEOS SSアプリの推進

ENEOS SSアプリは、2022年7月にリリースされたENEOSのガソリンスタンドで利用できるストレスフリー給油を実現するスマートフォンアプリです。リリースから2023年3月末時点までに全国で400万人ものお客様に登録・ご利用いただいています。今まで、ガソリンスタンドでの給油の際は設定画面で給油量・油種・支払方法の設定が必要でしたが、同アプリではQRコードをか

ずすだけで給油から支払までの設定を完了することができ、すぐに給油を開始できます。また、お得なクーポンやお知らせの配信、Tポイント・楽天ポイント・dポイントの付与連携、タッチパネル非接触による感染リスクの回避、利用履歴の確認など様々なメリットがあります。さらに、登録費・年会費は一切かからないため多くのお客様に支持されています。

アプリの登録方法はとても簡単です。ガソリンスタンドにあるQRコードをスマートフォンで読み取り、手順に沿ってメールアドレスとパスワードを入力するだけで登録完了になります。また、同アプリの付帯機能であるモバイルEnekeyは、アプリにクレ

ジットカードを紐づけることで決済ができます。登録方法は、既にお持ちのEnekeyの情報を紐づける複製登録と、アプリに直接クレジットカード情報を登録する新規発行があります。Enekeyをお持ちのお客様はご自身の操作のみで登録が完了できます。Enekeyをお持ちでないお客様はJA-SSのスタッフにお声掛けください。

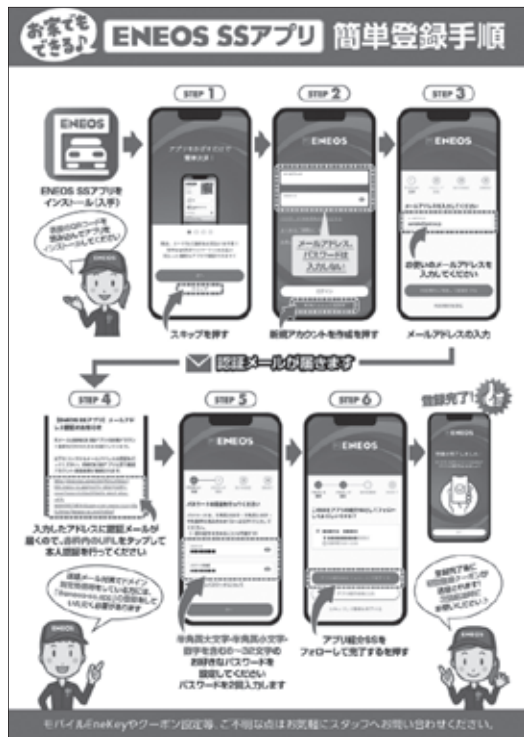
2023年8月より、長野県JA-

登録されたお客様にJA-SSで利用できる値引きクーポンを配信いたします（※一部のSSでは配信がないため、店頭にて確認をお願いいたします）。さらに、2024年3月までの間にモバイルEnekeyを新規登録されたお客様にはエネコリくんトイレレットロールをプレゼントしています。JA-SSをよりお得に便利に利用するため、ぜひこの機会にご登録ください。

燃料・ホームエネルギー課は、ENEOS SSアプリのさらなる普及拡大に向けた取り組みを進めていくと共に、石油・LPガス・JAでんきによるホームエネルギー事業を展開して参ります。



ENEOS SSアプリのアイコン



登録手順

発行費 年会費 無料

Enekey E JA-SS限定

モバイルEnekey

新規登録キャンペーン!

エネコリくんトイレレットロール(2R)プレゼント!

ご登録の際はスタッフにお声掛けください!

モバイルEnekey

○スマートフォンをお持ちの方に!

○モバイルEnekeyでクレジットカードを登録するとQRコードでのお支払いが可能に!

○よく使う燃料や量を登録してらくらく注文!

新規登録でエネコリくんトイレレットロール(4R)プレゼント!

※EnekeyからモバイルEnekeyへの機能変更はございません。
 ※商品の品切れにより万全を期していませんが、品切れの際は代替商品にさせていただきます。

生活課

生活部生活課の取組み
「らくJAんお届け便」人気商品

JA全農長野生活課が運営するネットショップ「らくJAんお届け便」は、組合員の皆様の利便性向上を目的に2021年10月にオープンしました。現在、約1,700名(県内1,000名、県外700名)の組合員・一般の皆様が会員登録しています。

取扱商品は、原材料にこだわった「エーコープマーク品」「長野JAオリジナル商品」、共同購入商品「永滝食品 かりんとう・おせんべい」、信州産果物等が中心で、県内はもちろん県外からも多くのご注文をいただいています。

らくJAんお届け便
rakujan otodokebin JA全農長野

4月には長野県限定販売の「ホームラン軒 信州みそ仕立て みそラーメン」が人気プログラムのS

NSの記事で紹介され、「らくJAんお届け便」サイトでは一日で300ケースの注文があり、SNSでのPRの重要性を再認識する出来事となりました。

これからの季節は「エーコープなす漬の素」「きゅうり漬の素」を使ってお手軽に浅漬けを作ってはいかがでしょうか。また「エーコープ冷やし中華」や旬の果物も販売します。商品やキャンペーン等のご案内は、メールやインスタグラムよりお知らせします。

今後も組合員をはじめ一般の皆様にご支持いただけるよう、サイト内の充実に努めて参りますので、皆様のご利用をお待ちしております。



信州特産野沢菜が入った
信州味噌仕立ての味噌ラーメン。

長野県JAオリジナル商品（一例）



保存料・合成着色料不使用ヨーグルト詰合せ
「JA佐久浅間 ハビネスセット」



エノキタケ入り
大豆ミートを使用した
「JA中野市 冷凍メンチカツ」



グルテンフリーの米粉麺
「JA大北 米粉麺」

長野県北信州産のこしひかり
「JANAがの 幻の米」

諏訪農工連
人気の調味料
詰合せ



新規会員
ご登録で

初回のお買い物から使える！

500pt
プレゼント

お買い上げ金額100円(税込)につき1ポイント貯まります。
貯まったポイントは1ポイント=1円としてご利用いただけます。

らくJAんお届け便
公式サイト
会員登録はこちら



長野県カーネーション3JA合同会議

J A全農長野は6月29日と30日の2日間、「長野県カーネーション3JA合同会議」を(株)大田花きで開きました。

これまで県内のカーネーション主力産地であるJ A佐久浅間、J A信州諏訪、J A松本ハイランドの3JAは合同で、生産・販売に取り組んできました。全農長野はこの経過を踏まえ、一層の有利販売と生産コスト低減に向けて、輸送問題も含めた方向性を協議することを目的として会議を開き、3JAの担

当者と生産者代表、全農長野と(株)大田花きの担当者など約20人が出席しました。

3JAは、合同で栽培講習会や種苗会社との情報交換の開催や合同販売による売り場拡大などを進めてきましたが、現在、国産カーネーションの生産量の減少や輸入品への対抗、いわゆる「2024年問題」といった課題に対して、県全体で協力して取り組むことを確認しました。

その上で、全農長野は生産者の手取り向上対策として、①商品を統一して有利販売を目指す ②コスト低減や作業効率化へ資材の規格統一を目指す、と説明しました。

また、(株)大田花きのロジスティクス担当者は、「パレット輸送の実態把握や、産地と輸送業者、市場がバランスよくメリットを得られる方法の検討が必要だ」と指摘しました。

(株)大田花きの取り扱いでは、パレット

ト輸送が7割、ばら積みは3割です。人手が減る2024年問題への対応には、パレット輸送の拡大を含めた検討も必要だと一致しました。

J Aからは「輸送やコスト、販売上の課題解決に、県内産地が一丸となつて取り組みたい」との意見が出ました。全農長野は今後の会議で、資材や出荷規格など商品統一の具体的な提案をする考えです。

会議後、出席者は市場内の荷受場所を視察し、入荷したカーネーションなど各産地の商品を比較、検討しました。



市場担当者と各産地の商品比較をする参加者



大田花きでの合同市場展示

30日のセリ前には生産者を代表し、J A信州諏訪カーネーション部会の雨宮勇副部会長が、「生産者は天候不順にも負けず、高品質な生産に努力しています。長野県のカーネーションをよろしくお願いします」と挨拶し、3JAが合同で作成した品種紹介ポスターや、生産工程を説明したリーフレットを紹介して産地をPRしました。

▼▼改革推進・企画課

会員会議を開催

J A 全農長野は6月29日(木)、J A 長野中央会・各連合会通常総会と同日となる会員会議を長野市J A ビルアクティホールにて開催いたしました。会員会議では「令和4年度事業報告」を行い、質問・意見無く原案どおり承認されました。また、本年度改選となる県本部運営委員会委員の選任投票の結果、全員の賛成で原案どおり選任されました。

■運営委員選任結果

新たに1名の方が選任され、15名の運営委員は別表のとおりとなりました。

■令和4年度の事業概況

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が継続する中、ウクライナ情勢を契機とした原材料やエネルギー等の価格高騰により、日本経済に大きな影響が及ぼされた1年となりました。特に、原料の輸入依存度が高い肥料、燃料、飼料といった生産資材が高騰し、農家経営にとって非常に厳しい状況となりました。

こうしたなか、全農長野は中期事業計画(令和4年～6年度)の初年度

として、①持続的な農業生産基盤づくりによる農業生産量の維持拡大 ②販売力強化とコスト低減による農家組合員の手取り最大化 ③J A 経済事業の収支改善と活気ある地域社会づくりを基本目標に、農家組合員の営農とくらしへの貢献とJ A 経済事業の確立に努めました。

生産振興事業では、ピーマンの実証圃を設置による試験実施、アスパラガス生産拡大に向けた枠板式高畝栽培圃の設置、リンゴ高密度わい化栽培の普及など園芸産地づくりを推進しました。

また、付加価値の高い情報提供を目的に農業生産管理支援プラットフォームの開発をすめ、一部システムで運用を開始しました。生産販売事業では、アフターコロナを想定した販売力強化に努め、SNSや各種媒体を活用した消費宣伝活動を展開するとともに、総合品目による安定供給体制の推進と、新規商品開発や付加価値を高めた商品提案・企画提案による販売拡大に取り組みました。生産購買事業では、生産資材価格の高騰の影響に対し、早期引取りや原料切替えによる価格抑制に努めるとともに、共同購入トラクター推進など生産資材コストの低減に努めま

した。畜産酪農事業は、各種キャンペーンを通じた信州産ブランドの肉牛肉豚、信州産牛乳・乳製品の販促強化に取り組みました。また、県の「松本食肉施設整備支援検討会」で今後の食肉処理施設のあり方を提案・協議しました。生活購買事業は、農業生産用燃料に対する支援対策を実施したほか、「J A うちエネポータル」を開設し顧客の利便性向上を図るとともに、開設2年目を迎えたオンラインショップ「らくJ A お届け便」の利用拡大に向けて、取扱商品の拡充や県内各種イベントへの出店による加入促進に取り組みました。

また、急激な生産資材価格上昇の緩和措置として県本部独自の資材高騰支援対策2億円をはじめ、J A 特別奨励2億円のほか、J A 事業基盤強化対策への奨励等、総額11億6,000万円を県内J A 組合員へ還元しました。

以上の結果、令和4年度供給販売高については、果実の良好な生産による数量の伸長、肥料・燃料価格の上昇による供給高の増加はあったものの、野菜、きのこの販売苦戦による単価安等、国際情勢や長引くコロナ禍の影響を反映し、2,576億円(計画比96%)、税引前当期利益については、継続的な事業

管理費の削減(計画比93%)と事業運営の効率化に努め、税引前当期利益は2億9,000万円(計画比145%)となりました。

■持続可能な農業および食料安全保障の確立に向けた緊急決議

長野県J A グループは、政府・与党が進める「食料・農業・農村基本法」の見直しにおいて、それに伴う基本計画策定や持続可能な農業および食料安全保障の確立に向け、生産現場に立脚した施策・予算の確保を行政に対して求めるとともに、農業理解の醸成に資する情報発信や農業に触れる機会の創出に積極的に取り組むこと、自ら掲げた事業計画必達に向け、取り組みを強化していくことについての緊急決議が満場一致で採択されました。

長野県本部運営委員会 委員名簿 (敬称略)

職務	氏名	所属JA・役職	備考
会長	神農 佳入	JAグリーン長野	会長
副会長	千國 茂	JAあづみ	代表理事組合長
委員	津金 一成	JA長野ハッ岳	代表理事組合長
委員	浅沼 博	JA佐久浅間	代表理事組合長
委員	眞島 実	JA信州うえだ	代表理事組合長
委員	小平 淳	JA信州諏訪	代表理事組合長 (新任)
委員	西村 篤	JA上伊那	代表理事組合長
委員	寺沢 寿男	JAみなみ信州	代表理事組合長
委員	田屋 万芳	JA木曽	代表理事組合長
委員	田中 均	JA松本ハイランド	代表理事組合長
委員	北沢 泉	JA洗馬	代表理事組合長
委員	武井 宏文	JA大北	代表理事組合長
委員	栗林 和洋	JAグリーン長野	代表理事組合長
委員	望月 隆	JA中野市	代表理事組合長
委員	宮澤 清志	JAながの	代表理事組合長

北陸新幹線で輸送 J Aながの産地直送アンス 「ハーコット」販売

J A全農長野営業課は6月26日(月)、J Aながのの協力のもと、新幹線で生食用アンス「ハーコット」を輸送し、首都圏で販売しました。

J R長野駅11時28分発あさま614号に乗せたアンスは、J R東京駅到着後、都内にある澤光青果の3店舗で販売し、試食も提供しました。商品が到着すると来店客が絶えず、幅広い年齢層のお客様が手に取り、北千住店では用意した分が完売しました。

お客様は「皮が気にならず甘くておいしい」「初めて生で食べた」「新鮮。今日着てよかった」などと話していました。

新幹線で輸送することにより、完熟と鮮度をアピールすることができ、付加価値を付けた販売につながりました。6月29日には2回目となる「ハーコット」、7月3日と6日にはアンス「信州大実」を販売しました。

営業課では今後もより多くの消費者に長野県産果実を届ける機会を作つて参ります。



新幹線に乗せられるハーコット



多くのお客様でにぎわう販売店舗

営業課

県産ハクサイ使用 「いちおしキムチシリーズ」 増量キャンペーン

J A全農長野営業課から長期契約でハクサイを供給している(株)美山は、キムチの増量キャンペーンとシャインマスカットのプレゼント企画を実施中です。

対象商品は「いちおしキムチ」「いちおしキムチ辛口」「いちおしキムチ大容量」「いちおしキムチ焼き肉屋の味」の4種類で、7月上旬から8月上旬の1か月限定で、いずれも20g増量しています。

また、増量企画終了後の8月上旬から9月上旬には、長野県産「シャインマスカット」「コシヒカリ」「ぎのこ詰め合わせセツト」が当たるプレゼントキャンペーンを行います。

この機会に「いちおしキムチ」をとおりして長野県産ハクサイをぜひご賞味ください。

さい。

全農長野営業課は、今後も取引先と連携し、県産青果物の販売促進企画を提案・実施し、消費拡大に取り組んで参ります。



営業課

▼▼野菜きのこ課

自転車レースで きのこ汁振る舞い

JA全農長野野菜きのこ課は、6月25日(日)に松本市で開催された「ツール・ド・美ヶ原」で1,400杯のきのこ汁を振る舞い、県産きのこをPRしました。

選手は、標高640mの松本市野球場をスタートし、1,910mの美ヶ原高原 天狗の露路までの21.6kmを、約1時間から3時間で駆け上がります。松本市野球場へ戻った選手に振る舞ったきのこ汁は、往復43.2kmで汗をかいた選手用に、通常より味を濃いに調味しました。えのきたけ、ぶなしめじ、なめこ、エリンギの4種類とハクサイ、油揚げをたっぷり入れ、大鍋で7個分用意。選手は減量して大会に臨むため、「具たくさんでおいしい」「体に沁みる」「大盛りでお願いします」と言いながら味わっていました。

約8割の選手が県外からの選手で、農産物ガイドのリーフレットを持ち帰る選手も多かったです。



▼▼販売流通企画課

ドトールコーヒーショップで 長野県産農産物をPR

JA全農長野販売流通企画課は(株)ドトールコーヒーの協力を得て、ドトールコーヒーショップ長野県内5店舗で、発券レシートを利用した情報発信を行っています。

主力商品「ミラノサンド 牛カルビ」に期間限定で信州味噌・ジンジャーソースが発売されたことに関連させ、同社が手掛ける地域応援企画として、同商品をご購入された方などに対して発券中です。7月6日～31日までは、レシートにECサイト「JAタウン 僕らはおいしい応援団」への誘導QRコードを掲載し、信州の味噌文化を自宅でも手軽に味わっていただける全農長野開発フリーズドライ食品「信州野菜と豚肉の具沢山味噌汁」「信州きのこの味噌汁」を紹介しています。8月1日～31日は信州果実の魅力発信に掲載内容を切り替えて継続します。

販売流通企画課では、農産物品目総合宣伝事業の取り組みとして「信州三ツ山マーク」による長野県産農産物の認知度向上に努めます。



上／対象商品の「ミラノサンド 牛カルビ」信州味噌®ジンジャーソース
下／QRコードがついたレシートとフリーズドライの味噌汁

下伊那子山羊市場 年に一度の共進会とセリ

ＪＡみなみ信州畜産協議会、ＪＡみなみ信州、ＪＡ全農長野は７月６日（木）、飯田市の三尋石集畜場で「第74回下伊那子山羊市場」を開催しました。

共進会では飯田下伊那地域の生産者が、この春に産まれた日本ザーネン種の子山羊17頭を出品しました。畜産技術協会や県飯田家畜保健衛生所の職員が審査員となり、体格や乳房、生殖器の形質などを審査し、長野県知事賞に豊丘村の久保田勝さんの雌子山羊が選ばれました。

表彰式後に行われたセリには、県内外から21名の購買者が参加し、1頭ずつ競り落とされました。雌17頭の平均価格は66,647円で最高価格は162,000円、雄6頭の平均価格は58,833円で最高価格は80,000円でした。全体の平均価格は64,609円で昨年より4,427円高く、出品頭数が少ないながらも活気あるセリとなりました。

今回で74回を迎えた伝統ある「下伊那子山羊市場」は、登録証付子山羊のみを扱う全国で唯一の競り市で、子山羊が離乳する7月に毎年開催しています。

全農長野県本部長賞を授与する
小林畜産酪農課長



セリの様子



第74回下伊那子山羊共進会 入賞者名簿（敬称略）			
	特別優秀賞	優秀賞	優良賞
雌の部	久保田 勝 （豊丘村） ※長野県知事賞	久保田 勝 （豊丘村）	川上 健吾 （下条村）
雄の部	玉川 翔 （阿南町）	一 英明 （飯田市）	—

子会社等が定時株主総会、 通常総会を開催

ＪＡ全農長野子会社8社の定時株主総会並びに長野県農村工業研究所の通常総会が、令和5年6月に開催されました。

令和5年度の常勤取締役並びに理事、常勤監査役は次の通りです。

会社・法人名	役職	氏名
株式会社全農長野計算センター	代表取締役社長	佐藤 利久
	使用人兼務取締役 ＤＸ推進室長	小林 健彦
株式会社ＪＡアグリエール長野	代表取締役社長	小林 寛久
	専務取締役（管理・肥料事業担当）	松田 正隆
	常務取締役（物流事業担当）	金井 久雄
株式会社マイパール長野	代表取締役社長	小川 郁男
	使用人兼務取締役 営業部長	岡村 修
長野県農協直販株式会社	代表取締役社長	内田 信一
	専務取締役（コンプライアンス・品質保証室、企画管理部統括）	平林 務
	専務取締役（食品部、鶏卵部、宅配部統括）	藤澤喜久雄
	常務取締役（食肉部統括）	風間 勇一
	使用人兼務取締役 企画管理部長	富岡 靖
	使用人兼務取締役 食肉部長	松本 岩根
	使用人兼務取締役 鶏卵部長、宅配部長	高山 仁孝
	監査役	北村 実
株式会社長野エコープサプライ	代表取締役社長	湯本 豊
	専務取締役	工藤 政文
	常務取締役（セレモニ担当）	丸山 泰史
	取締役（管理・物流担当）	太田 義夫
株式会社ジェイエイト長野	代表取締役社長	山崎 邦雄
	専務取締役	池田 伸一
	常務取締役（企画開発室担当）	東方 一政
株式会社長野県食肉公社	代表取締役社長	依田 秀樹
信州ミルクランド株式会社	代表取締役社長	丸川 通裕
	専務取締役	瀧本 勝成
	常務取締役	佐藤圭一郎
	使用人兼務取締役 工場長	町島 茂利
	使用人兼務取締役 品質保証部長	塩原 勇二
一般社団法人長野県農村工業研究所	常務理事	片桐 雅樹

新採用職員紹介

令和5年度の新採用職員を順次ご紹介します

東信事業所

営農資材課

やまうら はるか
山浦 遥夏



“ トマトの圃場に行きました! ”

はじめまして、東信事業所営農資材課の山浦遥夏と申します。出身は東御市のため、東信地区のことはある程度知っているつもりでしたが、日々の業務を行うなかで新たな発見がたくさんあります。

週末は、最近始めたゴルフの練習に行ったり友人とドライブしたりしています。

農業に関わることは初めてで分からないことも多く、先輩方に助けていただければと思いますが、失敗を恐れずに成長していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

東信事業所

生活課

たきざわ こうたろう
滝澤 弘太郎



“ 笑顔でフレッシュに頑張ります!! ”

はじめまして、東信事業所で生活事業を担当している滝澤と申します。

出身は長野市ですが、学生時代に長野県内で引っ越しを何回か経験しており、県内の様々な土地に愛着があります。

趣味はラジオを聴くことです。朝、電車で揺られながら通勤のお供になっております。

入会してはや三か月、慣れない仕事ばかりで、未熟な部分も多くありますがその分成長し、いち早く力になれるよう努力していきます。よろしくお願いいたします。

南信事業所

生産販売課

はしずめ みく
橋都 未来



“ アルストロメリアの定植作業をしています! ”

はじめまして、南信事業所 生産販売課の橋都未来と申します。出身は飯田市です。大学は県外だったため、その時に改めて感じた「長野県産の農畜産物の魅力」をより多くの人々に伝え、地元貢献したいと思い、入会いたしました。

趣味は、読書や小説の舞台になった場所や作家ゆかりの地を巡ることです。

現在は花の担当をしており、まだまだ分からない事だらけで日々勉強の毎日ですが、「長野県産の農畜産物の魅力を伝えたい」という初心を忘れずに頑張っていきたいです。

JA全農長野の事業現況

令和5年度6月末部門別実績表 (単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		0	0	0
野菜種苗センター		62	83	95
生産振興部計		62	83	75
米	穀	3,360	100	111
果実花き		1,888	110	94
野菜きのこ		12,865	95	99
営業		2,072	97	104
生産販売部計		20,184	97	101
包装資材		1,738	114	122
生産資材		3,017	99	83
農業機械		1,692	97	92
施設住宅		4,301	464	219
生産購買部計		10,748	148	121
畜産酪農		7,606	99	100
三岳牧場		79	124	111
SPF繁殖センター		67	87	88
八ヶ岳牧場		63	96	113
畜産酪農部計		7,815	99	100
燃料・ホームエネルギー		6,011	101	96
S S 協同経営		1,864	112	98
生活		2,250	107	100
生活部計		10,125	104	97
長野県本部計		48,935	107	104

(内部販売高含む)

8月のラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
8/23(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえぶりでい内 「暮らしの応援団」	野菜きのこ課

今月のおすすめレシピ

いろいろ野菜と きのこのジョン



- 材料(2人分)
- ・ズッキーニ..... 50g
 - ・白菜..... 1枚
 - ・ブロッコリー..... 50g
 - ・エリンギ..... 50g
 - ・塩..... 少々
 - ・小麦粉..... 大さじ4
 - ・卵..... 2個
 - ・ごま油..... 大さじ2
 - ・醤油..... 大さじ1
 - ・酢・レモン汁・砂糖..... 各小さじ1
 - ・おろしにんにく..... 小さじ1/2
 - ・ケチャップ..... 大さじ2

- ①ズッキーニは7mm幅の輪切り、白菜は6～7センチ角に、エリンギは5mm幅に切る。ブロッコリーは小房に分け、ラップをして600Wのレンジで1分加熱する。野菜に軽く塩をふっておく。
- ②卵をよく溶き、小麦粉をまぶした野菜をくぐらせ、ごま油を入れたフライパンで両面を弱火で焼く。
- ③お好みでAを混ぜ合わせたタレや、ケチャップをつけていただきます。

グリーンレーダーの
ツイッターを始めました

JA全農長野
【公式】グリーンレーダー

@ja_greenradar



編集後記

4月の凍霜害に始まり、7月10日には大規模な降雹被害が発生しました。全国的には大雨災害も発生しており、例年に比べ気象災害が頻発している状況です。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年「Z世代」という言葉がよく聞かれるようになりました。1990年後半から2012年頃に生まれた世代で、デジタルネイティブ、SNSネイティブ、さらにスマホネイティブといった特徴があり、自己発信力に優れています。ワークライフバランスの充実を優先する傾向があります。そういった意味で、「Z世代」とは、従来の若者を風刺し、過去の価値観と比較した「〇〇世代(筆者はロスジェネ世代)」とは異なり、「今の価値観そのままをもちて生まれてくる世代」です。

我々前世代から見れば「リアル協調性が希薄」と感じられるかもしれませんが、それは過去の価値観との比較です。我々は「過去の常識」に捉われない。必要としない「Z世代」の価値観を受け入れることが「今の価値観や社会に適応することになります」。

ただ「Z世代」の価値観が、絶対的に正しいかといえばそうでもありません。「リアル協調性」には、人として「心」「気持ち」が重要です。なぜなら「Z世代」の次にネイティブサステイナブル(持続可能な価値観をもつ「a世代(今の小学生世代)」が控えているのですから。

(一)



生産資材等価格高騰に係る 全農長野独自支援対策の 実施について

～農業生産資材価格高騰に直面するJA・農家・組合員の皆様に支援します～

生産資材等の価格高騰に伴う生産コストの増加が農家経営並びに農業基盤の維持に影響を及ぼしています。全農長野は、昨年度に引き続きJA・会員が組合員に実施する生産コスト上昇抑制対策に対し支援策を講じます。

がんばろう!



対策 内容

生産コスト上昇による農業経営への影響を緩和するため、組合員(生産部会を含む)に対してJAが実施する生産・出荷に直接影響する資材、肥料、農薬、飼料等に対する価格高騰対策の1/2を支出します

対象 JA

令和5年4月から令和6年2月末までに組合員(生産部会を含む)に対し生産コスト上昇抑制対策(資材、肥料、農薬、飼料等の価格高騰対策)を講じるJA

予算

予算総額2億円以内(本会の利用高に応じたJA別予算額を上限に設定します)



令和五年 秋巡業

大相撲松本場所



2023年10月6日(金) 開場9時～ 打ち出し15時(予定)

松本市総合体育館 松本市美須々5-1

JA全農長野は、長野県の農畜産物をととして御嶽海関を応援しています



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JAタウン」…………… <https://www.ja-town.com>

